

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
家庭	家庭基礎	2	1年	家庭基礎 パートナーシップでつくる未来 実教出版	ニュービジュアル家庭科 資料+成分表2014 実教出版

到達目標	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。 家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解し、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を身につける。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活の科学と文化」という視点から、総合的な考え方・取り組み方を身につける。</li> <li>「生涯発達」の視点で、家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえる。男女共同参画社会・少子高齢社会・消費行動・環境問題・食に関する学習の充実等に重点を置く。</li> <li>生活の中で課題を見だし、それを解決するための手段を考えるとともに、次の実践へつなげる。</li> </ul>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	人の一生と家族・福祉	<p>人生を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人生の目標、職業生活と家庭生活、生活時間やライフステージの特徴と課題について理解させ、男女が協力して家庭を築くことの意義や、家族と家庭生活の在り方について考えさせる。</li> <li>乳幼児の発達と保育・福祉について理解させる。子どもを生き育てることの意義、子どもの健全な発達のために親や家族及び社会の果たす役割を認識させる。</li> <li>高齢者の心身の特徴・生活・福祉について理解させ、高齢者の自立生活を支える家族や地域社会の果たす役割を認識させる。</li> </ul>	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	家族の生活と健康	<p>生活を営む力をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被服の機能と着装、被服材料、被服管理などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。</li> <li>栄養、食品、調理、食品衛生などについての基礎的な知識と技術を習得させ、家族の食生活を健康で安全に営むことができるようにする。</li> <li>住居の機能、住生活と健康・安全などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の住生活を健康で快適に営むことができるようにする。</li> </ul>	
1月 2月 3月	消費生活	<p>消費者として自立する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の経済生活、消費者の権利と責任について基礎的な知識を習得させ、消費者として責任をもって行動できるようにする。</li> <li>消費行動と衣食住にかかわる現代の問題について理解させ、責任をもって行動できるようにする。</li> </ul>	

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
情報	社会と情報	2	2	高校 社会と情報	

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら課題を見つけ、判断・行動し、解決する能力を身につける。</li> <li>・ 情報を活用する能力を身につける。</li> <li>・ 情報社会の中での自らの生き方を考える</li> </ul>
到達目標に向けての 具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習によって講義内容を体感させ、理解の浸透を図る。</li> <li>・ 授業記録ノートを書かせることによって、自ら課題を見つけ、判断・行動し、解決する能力を身につけさせる一助とすることを目指す。</li> <li>・ 授業中の問いかけや、作文を課すことなどにより、情報社会の中での自らの生き方を考えさせる契機とする</li> </ul>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	情報社会	情報と情報社会 情報社会の問題 メディアとその特徴	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	デジタル化	デジタル情報の特徴 静止画像の扱い 数値や文字の表し方	
6月		音声のデジタル化 色のデジタル表現 画像のデジタル化	
7月			
8月	情報安全	知的財産権の概要 著作権	
9月			
10月	コミュニケーション	ネットワーク 共通の取り決め インターネットの仕組み Web ページの閲覧とメールの仕組み インターネットのサービス 暗号化	
11月			
12月			
1月	問題解決	問題を解決するには 情報の収集 情報の整理 表現の工夫	
2月			
3月			

平成26年度 指導と評価の年間計画 (大阪府立桜塚高等学校)

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
情報	情報の科学	2	2	情報の科学	

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら課題を見つけ、判断・行動し、解決する能力を身につける。</li> <li>・ 情報を活用する能力を身につける。</li> <li>・ 情報についての科学的な理解を深める。</li> <li>・ 情報社会の中での自らの生き方を考える</li> </ul>
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習によって講義内容を体感させ、理解の浸透を図る。</li> <li>・ 授業記録ノートを書かせることによって、自ら課題を見つけ、判断・行動し、解決する能力を身につけさせる一助とすることを目指す。</li> <li>・ 授業中の問いかけや、作文を課すことなどにより、情報社会の中での自らの生き方を考えさせる契機とする</li> </ul>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	情報社会	情報と情報社会 情報社会の問題	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	情報とコンピュータ	情報と情報量 デジタル化 2進数 論理演算 圧縮	
6月			
7月			
8月	アルゴリズムとプログラム	アルゴリズム	
9月	モデル化とシミュレーション	シミュレーション	
10月	データベース	データベースとは	
11月	ネットワーク	ネットワークとは	
12月		プロトコル インターネットの仕組み インターネットのサービスの仕組み	
1月	問題解決		
2月			
3月			

「学校設定科目」（指導と評価の年間計画）

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
情報	情報演習	3年文系	2	自主教材

到達目標	Microsoft Office の応用に取り組み、ビジネスソフトを活用できるようになることを目標とする。
到達目標に向けての具体的な取組【指導上の留意点】	ビジネスソフトを活用する能力を高めるために実習時間を多くとる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	ワード・プロセッサ	Wordを用いて、文書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習への参加態度</li> <li>・出席状況</li> <li>・課題の提出状況</li> <li>・課題作成のための工夫やアイデア</li> </ul>	[関心・意欲] ・実習に意欲的に参加しているか ・提出物はきっちりと提出しているか ・継続的に努力しているか
5月				
6月				
7月	表計算ソフト	Excelを用いて、表計算処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の完成度</li> </ul>	[思考・判断] ・課題を達成するためによく考えているか ・適切な判断を下しているか
8月				
9月				
10月	プレゼンテーション	Power Pointを用いて、プレゼンテーションの実習	評価のポイントを考慮しながら、上記の観点から学期毎に総合的に評価する。	[技能・表現] ・コンピュータ操作能力が向上しているか ・課題を表現する能力が高まっているか [知識・理解] ・コンピュータを活用するために必要な知識を確実に修得できているか
11月				
12月				
1月				